

平成 19 年度の科学技術に関する
予算等の資源配分の方針について
- 科学技術による成長戦略 -

平成 18 年 6 月 14 日
総合科学技術会議

基本認識

- 科学技術は「**明日への投資**」であり、着実に拡充していく必要がある
- **人口減少**下での**国際競争**のもとで、日本が発展を続けるために、**科学技術振興が今ほど求められる時はない**

1 基本的考え方

○ 第3期基本計画の本格実行

- ✓ 19年度予算は、第3期基本計画の**本格実行実質的初年度**

○ 「選択と集中」の徹底

- ✓ 優先すべき重点課題を**「選択と集中」を徹底し厳選**

○ 「イノベーション創出総合戦略」の実行

- ✓ **「イノベーション創出総合戦略」の具体化は、19年度の最重要課題**

○ 社会・国民に支持される科学技術の実現

- ✓ **第2期基本計画中の成果のとりまとめ、安心・安全への取組強化**

2 科学技術関係予算の充実・改革に向けた取組の強化

○ 「選択と集中」の徹底等による科学技術関係予算の改革

- ✓ スクラップ・アンド・ビルドの徹底、**3年以上の継続施策のレビュー**により、**必要に応じて整理・合理化・削減**
- ✓ 重点投資を行う「**戦略重点科学技術(国家基幹技術を含む)**」を**府省横断的に推進**するため、個々の施策の位置付けを明確化(**全体俯瞰図**の作成)
- ✓ 関係府省における**科学技術関係予算の比重の増大**

○ 研究費配分における無駄の徹底排除の強化

- ✓ 電子政府構築計画に基づく**府省共通研究開発管理システム**の整備を本年度より進め、**19年度中に運用開始**

2 科学技術関係予算の充実・改革に向けた取組の強化

○ 国民への説明責任・成果発信の徹底

- ✓ 第2期基本計画中の**研究開発投資成果**を、失敗事例も含めて**国民に分かりやすく取りまとめ、公表**
- ✓ 科学技術に対する**国民の低下した関心**を**高める**ための関係者一丸となった**国民運動の展開**
- ✓ **研究者等のアウトリーチ活動**(国民と対話しながらニーズを共有する双方向コミュニケーション活動)の推進、**研究成果の発信強化**

3 平成19年度予算において優先すべき重点課題

○「イノベーション創出総合戦略」の実行

- ✓ 「イノベーション創出総合戦略」に基づいた施策を早急に具体化し、概算要求に反映

- ・ 基礎研究の多様性と継続性の確保
- ・ 世界トップレベルの研究拠点の構築
- ・ 地域イノベーションの強化
- ・ 戦略重点科学技術(国家基幹技術を含む)についての施策の集中的推進 等

○ 国際競争を勝ち抜く人材立国の実現(「モノから人へ」の実践)

- ✓ 学校外の専門的な人材の活用、国際科学オリンピックへの参加の促進等により、世界最高水準を目指して理数教育の抜本的充実
- ✓ 優れた若手、女性、外国人研究者の活躍を促進

3 平成19年度予算において優先すべき重点課題

○ 国際的に通用する競争的で魅力ある研究環境の醸成

- ✓ 科学研究費補助金等の**競争的資金**を拡充

〔 公正で透明性の高い**審査体制の強化**、**間接経費の30%確保**、**繰越明許費の活用**等を併せて推進 〕

- ✓ **大学等の施設の老朽化対策**

○ 科学技術の戦略的国際化の推進

- ✓ **若手研究者の海外での活躍・研鑽機会**の拡大

- ✓ ハイレベルの政策対話等を踏まえた**アジア諸国との戦略的共同研究**

4 総合科学技術会議における取組の強化

- **優先順位付けの改革**〈具体的改革案は、7月の総合科学技術会議に報告〉
 - ✓ 一層メリハリの効いた優先順位付けに改革
- **独立行政法人、国立大学法人等の科学技術関係活動の把握・所見とりまとめの強化**
- **不合理な重複・無駄の徹底排除、関係府省連携の一層の強化**
 - ✓ **科学技術連携施策群のこれまでの成果を11月を目途にとりまとめ**
- **研究開発の評価の徹底**
 - ✓ **国家基幹技術は概算要求までに評価**